



Title	1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書No.4(134 外務省外交史料館レファレンス番号 : H222104)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.5 公開日 : 平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号 : 2010-6440 CD・DVD番号 : H22-013
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

134

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚米商村地埋大塚合議事件

44.2.15 米商誌

2月15日大塚 米商誌 米商誌村地埋大塚合議事件
白紙印刷に印刷、約1冊を複製したと云ふ。

先方、沖繩道選出議員12名に米商誌
府は未だ白紙であり個人の意見として印刷

したとして、述べたことより再考を促す。

1. 基地の地位に付いて、換や自衛隊に付いて
本土並みでない、取決を公にした場合

を以て日本国内の施設に隣工場のmodeし
本元まで、基地の米商誌を最小限にする。

公に述べたものは、日本国内で、米商誌に
とるに止む、本土並みに印刷する問題

は、これは、米商誌取決を、いっかき、やうに

CA-6

外務省

と云ふことが、最も重要であるやうなところ。

2. 日本側としては、或一線以上は、政府
からなれり、又或一線以上を公に約束

したと云ふmodeに、本元まで、米商誌を
複製する、と云ふ一線から、米商誌

先方、米商誌に指示し、米商誌に
米商誌を複製せしめる、と云ふ行方

が最も重要であるところ。

3. 本土には、一つの態勢が生まれること
(注、朝鮮半島の件を含めて「本元」と

称している) 沖繩が、米商誌、米商誌、
米商誌、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌

米商誌、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌、
米商誌、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌

CA-7

外務省

要は、今の取決物は、日本国内で、専断的に
を扱った、形を取った、形を取った、形を取った

それ以上のものが、必要で、それを取決めた
やるとするの、両方の利益に合致する

と、思ふ。

4. 国合解散は、日本の問題であるが、今
は、選挙の件、選挙の件、選挙の件、選挙の件

以上を、日本に、思ふ、思ふ、思ふ、思ふ、又
選挙の件、選挙の件、選挙の件、選挙の件

同じものは、Mandate である、思ふ、思ふ、思ふ、思ふ
か、思ふ、思ふ、思ふ、思ふ、思ふ、思ふ

と、思ふ。

5. 以上は、今の取決物は、日本国内で、専断的に
を扱った、形を取った、形を取った、形を取った